

専門職（保健師）の総合的な育成能力 < 共通キャリアラダー >

理念

健康と生命を守る視点で病気のケアから発生予防まで取り組み、健康な地域社会の実現と市民の健康・福祉の向上に取り組む

目標

- 健康な地域社会づくり ……住民・団体・関係機関・事業者等との協働による様々な地域福祉保健の活動を進め、誰もがいつまでも安心して暮らせる地域づくりに取り組む
- (健康を視点とした)セーフティネット ……経済状態や労働環境等による変化を捉え健康格差を把握し、市民の健康に関する安心・安全の保障(セーフティネット)に取り組む
- 健康危機管理 ……大都市の強み・弱みを踏まえ、災害や感染症等の健康危機に迅速に対応するとともに、再発や二次被害発生の予防に取り組む

ステップ3までの能力を獲得した保健師の姿

- 公衆衛生の視点からケースマネジメントと地域マネジメントの相互のつながりを常に意識し、統合的に実践活動を展開することができる
- 所属する分野の視点のみならず、他分野の地域情報や地域課題を統合し、(潜在化しがちな課題も含め)地域全体の健康課題を多角的にみることができる
- 福祉保健センターにとどまらず、区政全体の中での健康に関連する課題を常に認識し、関係部署と連携しながら予防活動から支援までを展開することができる
- 課題に応じ事業や制度・新たな資源創生に取り組み、安定的・継続的な予防策・対応策を展開することができる

能力	ステップ1		ステップ2		ステップ3		
	目標	姿勢・行動の例示	目標	姿勢・行動の例示	目標	姿勢・行動の例示	
ケースマネジメント(★1)	個人・家族	□当事者の生活と健康を多角的に捉えて健康課題をアセスメントし、支援する ①個人・家族の状況を、心身面、社会生活面など多角的に捉えてアセスメントし、健康課題(※要注釈)を把握し、目標を立てて支援できる ②個人だけでなく家族全体を援助する視点に立ち、当事者の立場で生活を理解できる	□健康課題に対する支援を計画・立案、実施し、当事者自らが健康課題に取り組めるよう支援する ①潜在的な健康課題も明らかにし、当事者自らがその解決・改善に向けて取り組めるよう支援できる ②支援の経過に応じて、関係機関と連携して、再アセスメントと計画の見直しができる ③個人・家族の複雑な問題を整理し、緊急性の判断等、事案に応じた対応ができる	□当事者の課題解決力をさらに高めるよう支援する □健康課題をもちながら、それを認識していない・表出しない・表出できない人々を見出し、支援する ①当事者や関係者が自己決定し解決する力を高められるよう支援できる ②健康課題の解決に向け、関係機関と協働で支援を行うようマネジメントできる ③健康課題を持ちながら、潜在する市民を把握し、支援できる	□グループ(★2)	①既存グループの特徴や活動内容を把握し、解決にむけた支援計画の立案・実施ができる ②支援を通じて健康課題を見出し、支援の必要性や取組の優先度が理解できる ③健康課題によっては、新たなグループ化・組織化が必要であることがわかる	①グループが効果を上げられるような活動支援ができ、必要に応じて、再アセスメントと計画の見直しができる ②潜在的なものも含めた健康課題の解決に向け、当事者や関係者の組織化(グループ化)の働きかけ・支援ができる
	地域住民との協働	□地域の関係者・機関等を把握し、その役割とネットワークの意義を理解する ①地域の団体や関係機関などを把握し、役割を理解できる ②地域のネットワークを把握し、目的や役割を理解できる	□地域の関係者・機関と協働でネットワーク維持・発展ができるよう支援する ①既存ネットワークが効果を上げられるよう、住民と協働し、ネットワークの運営・活動支援に取り組むことができる ②担当分野以外の地域ネットワークの状況も把握し、連携してネットワークを上げられる ③新たな地域の健康課題解決に向け、住民や関係者と協働し、新規ネットワーク立ち上げの必要性等を検討することができる	□ネットワークの効果的活用・機能充実に支援する ①健康課題解決に既存のネットワークや地域資源をつなぎ、必要な連携ができるよう支援できる ②既存の資源では解決できない課題が解決できるよう、必要に応じネットワークの新規立ち上げの支援ができる ③潜在的課題の発見や新たな課題解決に住民・関係機関と協働で取り組むことができる			
健康な地域づくりのためのマネジメント(★3)	地域管理	□地域の特性及び社会資源等(行政サービス含む)の情報を把握し、地域の健康課題に気付く ①担当地域や区域の社会資源やサービスの充足状況等多角的に情報を収集、整理して地域の概況を把握できる ②把握した地域情報を分析し、健康課題を見出せる	□地域のサービスの提供水準が判断でき、今後の充足・強化の方向性がわかる ①質も含めた地域内のサービス提供水準・充足状況を、さまざまな情報収集を経て把握できる ②地域の健康課題の解決に向けた、サービス充足の方向性、地域活動や人間関係も含めた充実の方向性がわかる	□顕在的・潜在的な地域の健康課題を見出し、支援計画を立案・実施・評価する □望ましい地域づくりの方向性の提案ができる ①潜在的なものも含め地域の健康課題を見出し、支援計画を企画、地域住民等と解決に向けた検討ができる ②地域・区域のサービスの提供水準の格差や質について分析でき、充足の方向性が提案できる ③地域内の活動の発展やサービスの充足について、向かうべき方向性を住民や関係者と共有できる			
	事業の企画立案	□事業の背景や根拠を把握し、地域における事業の目的を理解する ①担当する事業の根拠を把握し、事業の企画・立案・実施・評価の一連の流れを理解できる ②担当事業の目的(意義)と評価の視点を理解できる ③個・集団・地域の健康課題と事業の意義(目的)をつなげて理解できる	□施策化の必要性がわかり、地域に必要な社会資源や施策について助言のもと企画する ①事業や施策の相互の関連について理解でき、事業の進行管理と予算執行ができる ②助言のもと根拠に基づき企画立案(予算案を作成)し、必要な評価指標も明確にできる	□実践活動の評価をとおして必要な施策を企画し、実現に向けて調整を行う ①地区分析や事業評価等を通し、自ら、新たな事業・施策の企画・立案や業務改善ができる ②事業の継続や改善、新たな施策化の必要性を地域や関係部署・機関にむけて根拠に基づき説明でき、実現にむけて調整できる			
	健康危機管理	□マニュアルの内容を理解し、発生への備え及び予防的な活動に取り組める □発生時は周囲からの指導を受けながら対応する ①マニュアルが理解できる ②健康危機への予防策を理解し、必要な準備ができる ③健康危機の発生が、担当業務に及ぼす影響が理解できる ④危機発生時に連携すべき関係機関等が理解できる	□発生時の備え及び予防的な活動に取り組める □発生に際し、的確な判断及び迅速な対応をする ①感染症等の情報を他課・関係機関に情報提供し、共有できる ②健康危機の発生が担当業務に及ぼす影響を予測し、必要な対策(予防教育活動など)を講じられる ①危機発生時に、迅速・適切な当事者支援、拡大防止等に対応できる ②発生要因を分析し、二次的な健康被害を予測し、主体的に予防活動を計画・実践できる	□予防的な活動から発生時の判断及び対応を行う □発生後の対応策を予測し、必要な施策を提案する ①マニュアル等の作成・改善や必要物品等の準備ができる ②発生時に起こりうるさまざまな状況や影響を予測し、具体的な対応や取組みをイメージして研修を企画・実施するなど、技術の向上に向けた取り組みができる ①発生時に迅速・適切な対応を行い、健康回復に向けた支援(PTSD対応・生活環境の復興等も含む)を行う ②二次的な健康被害を予測し、予防に向けての対策を関係機関・団体と共有し、連携できる ③対応経過をまとめ、今後の活動へ提言ができる			
セルフ・チームマネジメント(★4)	自己管理	□自身の業務を振り返り、スキルアップに取り組む ①上司等の助言のもと、自分自身の健康管理ができる ②助言の下、活動振り返りやまとめ作成ができ、スキルアップに向けた研修に積極的に参加し、業務に活かせる ③(上記)保健師の理念が理解でき、行政保健師としての行動がとれる	□自ら必要な知識、技術等を認識し、その獲得に努める □研究の成果を実践に活かす ①自分自身の健康管理やストレスマネジメントができる ②活動成果をまとめ、主体的・計画的に知識・技術の習得や学習に取り組み、実践に活かせる ③(上記)保健師の理念を理解し、実践に活かすことができる	□活動の成果を体系的にまとめ、職場のスキルアップに取り組む ①自分だけでなく、後輩や同僚の健康管理にも配慮できる ②社会情勢と地域の健康課題に応じた保健師活動の研究・開発ができ、研究発表会・学会等で発表できる ③(上記)保健師の理念を理解し、自己の職業倫理観を形成できる			
	リーダーシップ	□チームにおける自身の役割を理解し、チームの一員として活動する ①積極的に報告、連絡、相談を行うことができる ②チームの一員としての自らの役割を理解し、活動できる	□多様な保健活動を理解し、後輩へ助言する(トレーナーとしての役割) ①実践場面で、後輩に保健活動の技術や視点についてアドバイスできる ②チームの中での役割を認識し、お互いに研鑽を積むよう働きかけられることができる	□保健活動の意義を理解し、後輩や同僚へ助言する(トレーナーとしての役割) □育ち合える職場づくりへの協力 ①後輩が保健活動を振り返るよう指導(スーパーバイズ)ができる ②福祉保健センター内の同職種、他職種の連携調整のリーダーシップがとれる			

★1 個人・家族・グループの健康課題を捉え、解決・改善に向け支援すること(個別または特定の対象への支援) ★2 同じ課題及び目的を共有し、共に活動する人々の集まり、サポートグループ、セルフヘルプグループなど
 ★3 地域全体の健康のためのセーフティネットを張ること(地域全体のしくみづくり) ★4 専門能力を確立・獲得するための姿勢・行動のこと(専門職としての姿勢・行動)